

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970101634
法人名	社団法人 高知市労働事業協会
事業所名	グループホーム やさしい里
所在地	〒780-8066 高知県高知市朝倉己771-1
自己評価作成日	平成22年2月10日
評価結果市町村受理日	平成22年7月12日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年3月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970101634&SGD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者の皆さんの尊厳を第一に「生きることの喜びを実感できる暮らし」の実現を目指し、食事、外出等に特に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

のどかな住宅地の一角にデイサービスセンターや訪問介護事業所が併設された事業所である。理念の基本方針に「人間の尊厳」を掲げ、「生きることの喜びを実感できる暮らし」をサービス提供の目標として、職員全員で実践している。利用者と職員の馴染みの関係も築かれ、地域との連携もできており、事業所の避難訓練への地域住民の参加、協力を得たり、日頃から野菜や果物の差し入れがあるなど、地域の一員として交流している。また、事業所を災害時の地域の避難場所として使用する話し合いが行われるなど、今後も、さらに地域に溶け込み、充実した運営が期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者の尊厳を基本に地域社会の一員としての権利が保たれ、日常生活を送ることができるよう事業所の運営方針で明確にしている。ミーティングや現場で絶えず確認し合い実践できるよう心がけている。	利用者の尊厳を大切にした事業所独自の理念がある。職員会等で理念について話し合い、常に基本方針を確認しながら日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一斉清掃、不燃物収集、夏祭り、敬老会、防災訓練など地域活動に積極的に参加したり、散歩時等のあいさつなど、日常的に交流している。	町内会に加入し、一斉清掃や敬老会、防災訓練などに地域の一員として参加している。また、小学校や保育園の子どもたちと交流したり、地域住民から野菜や果物などの差し入れがあるなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年末のイルミネーション、5月の鯉のぼり、夏のよさこい踊りなど、地域の皆さんと一緒に楽しんだり、地域住民の研修会場や避難場所として協力している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議毎にテーマを決め、その取り組みや課題等を報告し、意見交換をしている。委員を通じて防災訓練に市民会館や町内会等の協力を働きかけ、地域住民の参加、協力を得た訓練の実施につなげることができている。	事業所の運営状況や評価結果と改善など報告するとともに、課題事項等を議題にあげ、参加委員と話し合っているが、意見交換の内容など議事録が整備されていない。	運営推進会議の内容について、参加委員や話し合いの概要などを記録し、議事録として残しておくことを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>定期的ではないが、適宜指導を仰いだり相談を持ちかけ、時には問題提起を行い連携を保つよう心掛けている。また、グループホーム連絡会を結成、定期的に情報交換等を行っている。</p>	<p>運営推進会議や西部地区のグループホーム連絡会を通じて、日頃から協力関係を築いており、制度の運用等の相談のほか、事業所を研修場所に提供している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束防止マニュアルを作成し、それに基づき取組を実践している。</p>	<p>身体拘束に関する職員研修を行い、拘束をしないケアを実践している。日中、玄関は施錠せず、外出傾向のある利用者を把握し、職員間で連携し合って、外出を制止することなく、一緒に散歩するなど支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所で内部研修を行い、意識づけの徹底は勿論、介護保険事業所の一員としての責任の重さを十分に認識し、虐待をしない取組みを徹底している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している</p>	<p>制度は了知しているが、現在、該当事例がない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結前に、ご本人、ご家族に見学してもらったり、希望等を聞く機会を設け、理解と納得のうえで契約となるよう努めている。また、解約の場合も、医療機関や他の福祉施設、介護支援専門員等と協議し、介護、医療が継続して受けられるよう配慮している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情処理担当職員の設置のほか、意見箱を設置し利用者や家族の希望、意見等が反映できるように心がけている。また、重要事項説明書の中にも行政等の窓口を明記し説明をしている。	家族会はないが、組織化に向けて行事に合わせ家族同士の食事を企画するなど意見交換の機会づくりに努めている。家族の面会時には個別に意見等を聞き、内容に応じた対応をしている。	引き続き家族会の組織化に向けて側面的な支援とともに、意見交換の場では家族同士のみで話し合う機会を持つなど、運営等に関して気軽に意見等が出し易い取り組みを期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング等で職員の意見、提案、要望を聞く機会を設け、運営に適宜反映している。	毎月の職員会や日々の申し送り時等の機会を捉えて、職員の意見を聞いている。利用者の入退居について話し合ったり、内容によっては法人に報告するなどして、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格（介護福祉士等）取得者の手当支給など、職員の意欲向上等の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	可能な限り職員の研修会参加について配慮している。研修参加者による報告を通じて全職員の共有化も図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内西部地区にあるグループホームのネットワークを作り、行政も加えて情報交換、相互訪問等を実施している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時の情報収集のほか、特に、ご本人の生活歴、趣味、病歴等を詳しく把握するように努め、また、ご本人との話の中で、要望を聞いたり不安を解消するなど、信頼関係を築いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の意見や要望を踏まえ、これまでのサービスの状況把握や事業所での援助内容を早期に確定するよう努めている。また、不安や疑問点にも応え、必要に応じて行政へも相談するなど、信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族のサービスの要望等を聞き、状況に応じて、医療サービスや福祉サービス、その他の介護サービスにつなげるよう支援している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の一番輝いていた頃の情報をもとに会話の時間を重視し、特に、本人の昔話を傾聴したり、職員が教えてもらうなど、信頼関係を築くようにしている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えている関係を築いている</p>	<p>いつでも気軽に相談できるようにし、認知症に関する情報提供を行い、家族、職員が共通認識のもと、ともに利用者を支えていく立場であることを理解し合えるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている</p>	<p>事前の情報で把握できた友人に連絡し面会に来てもらったり、馴染みの地域の行事へ参加したり、ドライブ等を実施している。</p>	<p>友人、知人の訪問を受けたり、馴染みのショッピングセンターに出かけている。また、行きつけの美容院や墓参り、法事など家族の協力も得て、馴染みの関係が継続できるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食卓の場所を変更したり、写真撮影、買い物等の外出などでお互いの関わり合いを大切にしたい取組をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時には本人、家族の意向を尊重し、介護・福祉サービスや医療サービスなど状況に応じたサービスが受けられるよう対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時の情報に加え、日々の利用者との会話や、動作等から、その思いを汲み取るようにしている。	日常生活の中での利用者の言動から、思いや希望を把握したり、推測しながら、利用者の意向に沿うよう努め、家族からも情報をもらって、利用者本位の暮らしとなるよう検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族から入居前の生活歴やこれまでのサービスの利用等について聞いたり、必要に応じて、介護支援専門員や医療関係者から情報も取り寄せるなど、幅広く総合的な状況把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のケアを通じて、利用者一人ひとりの身体状況や、出来ること、出来ないことを把握し、その人らしい暮らしの支援に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意向を踏まえながら担当者会議で、介護スタッフ全体で計画作成に取り組んでいる。また、定期的なモニタリングを行い、本人の状況に即した介護計画を作成している。</p>	<p>面会時等に家族の意見等を聞き、職員の気づきも踏まえ、介護計画を作成している。介護計画は6カ月毎の見直しを基本としているが、状態の変化や介護度の変更時には、ユニット毎にモニタリングやカンファレンスを行い見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護日誌、業務記録によりスタッフ全体が情報の共有化を図り、より良い介護の実践や計画の見直しに繋がっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>併設の通所介護事業所との連携により、利用者同士が相互訪問し、談笑するなど馴染みの方との楽しい時間を過ごしていただいている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行政機関等の協力をいただき、学童の訪問や夏祭りやカラオケ大会等の行事への招待など地域の中で楽しい時間が過ごせている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医やかかりつけ医と看護職員を中心に気軽に相談でき、往診を含め適切な医療が受けられる状態にある。また、予防接種やボランティアによる訪問診察や医療相談の機会も作っている。</p>	<p>かかりつけ医への受診は、利用者、家族の希望に沿って支援している。家族が通院介助ができない時は職員が対応している。受診結果については、家族から報告をもらい看護師を中心に職員全員で共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置し、日常の健康管理や医療機関と連携をとり、利用者が適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院先の主治医や相談員、地域医療連携室等から入居者の情報提供を受けたり、カンファレンスに参加し状況の確認を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族の意向により医療機関、看護師、職員が何度も話し合いながら、終末期の支援を行い、その人らしい最期を全員で看取ることができた。</p>	<p>入居時に重度化対応・終末期ケア対応指針について説明している。看取りの事例もあり、利用者、家族の意向に沿って、安心して納得した最期が迎えられるよう支援する体制ができています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを策定している。専門医師の協力を得て、職員によるAEDの取り扱いや、看護職員による応急手当の初期対応の訓練を実施している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域住民や地域の行政機関の協力を得て、通報、地震、消火、避難訓練を実施している。</p>	<p>運営推進会議を通じて地域住民の参加、協力を得て避難訓練を実施している。災害時の飲料水等も準備されており、事業所が地域の避難場所となることも話し合われている。</p>	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者の尊厳を第一にサービスを提供しており、誇りやプライバシーを損ねない対応について職員間で十分注意し合うこととしている。また、各種記録等についても個人情報保護に十分配慮した対応をしている。</p>	<p>日々のケアのなかで、排泄介助時の声かけやドアを閉めることなど、利用者の誇りやプライバシーの保護に留意し、職員同士で注意し合いながら、理念に沿った支援に取り組んでいる。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入浴の時間帯、外出の行先、外食のメニュー等利用者の希望を第一にしている。また決定にあたってはできるだけ全員の希望を聞くようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>特に、入浴、食事は利用者のペースに合わせたサービスの提供に努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>理美容は、行きつけの店に行ったり、訪問理美容を利用している。また、髪型も本人の希望を酌んで満足ができるようにしている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立については希望を聞くようにしているが、高齢化、重度化しており比較的元気な方が後片付けを行っている。</p>	<p>利用者の希望を聞き献立をつくり、土、日はユニットで調理するが、平日は併設のデイサービスセンターで調理し、ユニットで盛り付けている。利用者は能力に応じて盛り付けや下膳など、できることを職員と一緒にしている。食事は職員も一緒に同じものを食べている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分補給については、毎日の摂取量をチェックしている。食事量は専門的な立場から栄養士のアドバイスを定期的にもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行い、必要に応じて介助している。また、歯科医の訪問診療時に口腔ケアの指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の声かけや誘導など、利用者の状況に応じて支援している。重度化に伴い、便座への着座そのものが困難なケースもある。	できるだけトイレで排泄できるよう、時間をみてさり気なく声かけしたり、トイレに誘導するなど支援している。利用者の状態に合わせてリハビリパンツやパットを使い分けるなど、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄確認表で、2～3日排泄が見られない場合は、服薬、マッサージで促すようにしているが、場合によっては医師の相談することもある。また、水分、食事、運動に関連づけ、日常生活の中で予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望で週3回午後に入浴しているが、夏場などの時期には希望に応じてシャワーや入浴できるようにしている。	利用者の希望に沿って、週3回、ユニット毎に日替わりで併設のデイサービスセンターの温泉大浴場で入浴できるよう支援している。シャワーなどはユニットの風呂を使用している。入浴拒否の利用者には、時間や職員を替えて声かけするなど、工夫しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	眠気があっても昼寝を我慢してし まう利用者もいるが、運動を取り入 れるなど1日の生活習慣を基本に支 援し、夜間は安心して眠れるよう支 援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	新たに服薬が始まった場合はその 薬の目的、副作用等について職員に 周知し、食事毎の服薬準備や服薬の 確認を行い、服薬管理を徹底してい る。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている	利用者の能力に応じて、食事の後 片付けや、洗濯物の片付け等をして もらったり、行事等で、踊りや歌を 披露できる機会を設けたり、外出が 好きな利用者にはドライブに出かけ たり、生活に張りができるよう取り 組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	利用者の希望に応じて、事業所周 辺の散歩、菜園の世話、日用品の買 物、ドライブなど、に日常的に外出 の機会をなるべく多く取り入れるよ うにしている。	日常的に事業所周辺で散歩した り、菜園の世話などに出かけてい る。また、希望に応じてショッピング センター買物に行ったり、ドライ ブに行っている。また、季節毎の花 見や行楽には車椅子の利用者も一緒 に出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的には事業所で預かっているが、買物や外食の際には自分で支払いしてもらうよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望者には居室に電話を引くことができるようにしている。事業所の電話はいつでも無料で利用できるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な雰囲気を感じてもらおうよう、県内産の木材を使用し、採光にも配慮した空間作りや、季節の花、写真等で季節を感じ、金属音のしない落ち着いたある暮らしの実現に取り組んでいる。</p>	<p>食堂兼居間の窓から明るく採光され外気が感じられる。居間の畳敷きには、お雛様の段飾り生花が飾られ季節感の採り入れに配慮している。また、壁面には外出時や子どもたちと笑顔で交流している場面の写真が貼られ、和やかな雰囲気を醸し出している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>小溜りや休憩所等で、利用者が一人になれたり、お互いが談笑できる空間を確保している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際にはできるだけ使い慣れたものを持ち込んでもらうようにし、利用者が戸惑うことなく、そして居心地よく暮らすことができるよう心掛けている。</p>	<p>居室には全室にトイレが備えられ、使用に際しては出入りしやすい構造となっている。タンスなど利用者の馴染みの家具を持ち込み、好みの飾りつけをするなど、本人本位の居室づくりに配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、トイレ等に手すりを設置したり、段差の解消、カーペットの滑り止め、扉は引き戸等にするなど、安全対策に配慮している。暖簾の花柄で自分の部屋を覚えてもらうなどの工夫をしている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： 各ユニット共通	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない